

麻しん・風しん予防接種を受けましょう！

年長児・中学1年生・高校3年生相当の方へ
 平成22年度の接種期限が迫っています！

麻しん（はしか）・風しん予防接種は、平成18年度から混合ワクチンの2回接種となり、平成20年度から平成24年度までは、これまでの第1期（1歳以上2歳未満）・第2期（年長児）に加え、中学1年生・高校3年生相当者も対象となります。

接種期間内に予防接種を受ける場合の接種費用は無料ですが、接種期間を過ぎて受ける場合は1万円程度の接種費用を個人負担することになります。

対象となる方で、まだ予防接種を受けていない方は、期間内に受けてください。



平成22年度麻しん・風しん予防接種の対象者

区分	対象者の生年月日等	接種期間	接種券・予診票
第1期 1歳以上2歳未満	1歳以上2歳未満	2歳になるまでに接種してください。	「育児のしおり」の中にあります。
第2期 年長児	平成16年4月2日～平成17年4月1日	平成23年 3月31日までに 接種してください。	平成22年4月上旬に対象者へ郵送しています。
第3期 中学1年生	平成9年4月2日～平成10年4月1日		
第4期 高校3年生相当	平成4年4月2日～平成5年4月1日		

※接種券・予診票を紛失された場合は再交付しますので、最寄りの保健センターへご連絡ください。

平成23年度から

子宮頸がん検診の方法が変わります

今までの子宮頸がん検診の方法は、綿棒を使って子宮の入り口の細胞を採取していましたが、平成23年度からはブラシを使って採取する「ブラシ法」へ変更することになりました。

ブラシ法はより多くの細胞を採取することがきるため、精度の高い検診を行うことができます。ただし綿棒を使った方法よりも広範囲から細胞を採取するため、出血を起こしやすくなります（※出血のほとんどは自然に止まります）。

子宮頸がんは、検診によって早期発見でき、ほぼ100%予防できるといわれています。ぜひ、検診を受診してください。

※平成23年度の検診日程につきましては、広報さいじょう4月号に折り込みの「平成23年度健康カレンダー」でご確認ください。

綿棒による採取から
 ブラシ法へ変更



世界結核デー 3月24日(木)

1882（明治15）年3月24日に原因菌が発見された結核。日本では人口の高齢化に伴って、結核患者も高齢者の割合が増加傾向にあります。

世界保健機関（WHO）では、1997（平成9）年から毎年3月24日を「世界結核デー」と制定し、病気の予防と治療のための啓発活動を行うとともに、DOTS（ドッツ）という強力な患者支援を核とした総合的な結核対策戦略の促進を行っています。

結核の治療・感染予防には**早期発見・早期治療**が重要です。次のような症状が長く続くようであれば必ず診療を受けてください。

- 咳（せき）が2週間以上続く
- 痰（たん）がでる（痰に血が混ざる）
- 体がだるい
- 微熱が続く